

歴史美術館

みなさんは、歴史美術館を知っていますか。歴史美術館には、美術品や名品の数々、埋蔵文化財が展示してあります。

建物 紹介

歴史美術館は元も明治15年に篠山地方裁判所として建築されたもので、木造の裁判所としてはわが国最古の重要建造物です。

この貴重な明治建築の外観および旧法廷をもとのままの姿で残しながら、美術館にふさわしく内部を改築したものです。

篠山地方は、数千年を溯る縄文の昔から、人々の生活が営まれ、弥生時代を経て古墳時代に至って、中央と直結した強大な勢力を誇った一団がいたことは、壮大な雲部車塚古墳の存在によって明らかです。古代、中世と常に丹波の国の中心的な役割をきた。



王子山焼き



江戸時代末期、篠山藩第12代藩主青山忠裕が開いた藩窯。青磁・染付・赤絵といった中国風の磁器を生産し、最盛期には幾多の気品ある作品が焼かれ將軍家や大名家の献上品や贈答品として用いられた。

東海道凶屏風



この屏風は、東海道・中仙道・甲州街道の主要の街道を描いた八曲四隻の絵凶屏風。江戸時代中期の作品とみられ、街道いっしょに描かれている全国的にも珍しいもの。

裁判体験

歴史美術館の旧法廷では、裁判官・弁護士・検察官・被告人にそれぞれ扮して、模擬裁判が体験できます。備え付けのシナリオをもとに各配役を演じることで、裁判について学べます。



ぜひ、行ってみてください！